



歴史的資源を活用した観光まちづくり 成功事例集

2018年2月5日

内閣官房 歴史的資源を活用した観光まちづくり連携推進室



歴史的資源を活用した観光まちづくり（兵庫県篠山市の取組）

概要

- 一般社団法人ノオトが、古民家の再生等により、魅力的な城下町の街並みを実現するとともに、限界集落や農村地域の再生に大きく貢献。

取組内容のポイント

○空き家活用と地域再生

ノオトは、**地域経済活性化支援機構（REVIC）**等が設立した**観光マザーファンド**や**但馬銀行**との協調支援により、(株)NOTEリノベーション&デザインを設立し、篠山地区の古民家を一体的に改修するとともに、**起業家や事業者を誘致**し、多くのホテル、レストラン、カフェ、工房などが立ち並び、**魅力的な城下町等の街並みを実現**。20名以上の移住者、50名近くの雇用を創出。



モダンに改修された古民家ホテル「NIPPONIA」



篠山城下町の歴史的街並み



※詳細はリンク先→ <https://sasayamastay.jp/>

○丸山集落の再生

ノオトが人口19人で限界集落と言われていた篠山の丸山地区において、空き家となっていた**古民家を改修した宿泊施設「集落丸山」を開業**。2.1haあった集落の耕作放棄地を解消するとともに、4人が集落にUターンするなど、**観光を通じた地方創生に大きく寄与**。



集落丸山



多様なニーズへの対応

※詳細はリンク先→ <https://www.maruyama-v.jp/>

歴史的資源を活用した観光まちづくり（長崎県小値賀町の取組）

概要

- 小値賀島の遺された地域資源を生かす体験型観光「島暮らし・自然体験」を商品化。
雇用を生み出す経済効果の実現に向け、**個人客をターゲット**とした「暮らすように旅をする」高付加価値の旅行商品の提供により、**観光地域としてのブランド化**を実現。

取組内容のポイント

○ **古民家再生によるプライベート空間の提供**
アレックス・カー氏とのコラボレーションにより、武家屋敷や漁師の家など廃墟となった古民家を観光資源として再生し、「古民家ステイ」「古民家レストラン」として展開。
「暮らすように旅をする」ための拠点とプライベート空間を提供。

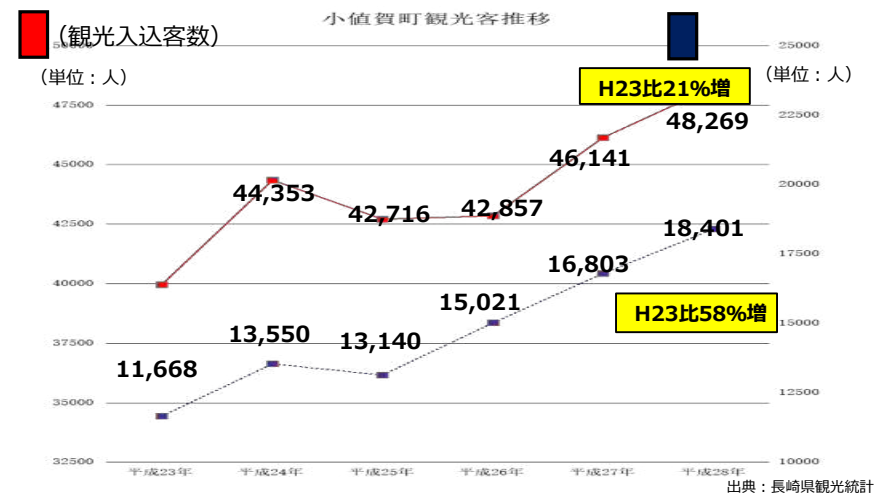
○ **ワンストップ窓口DMOの創設**
「食」「泊」「過ごす」の3つを全て受注型企画旅行として手配できるワンストップ窓口機能を有する日本版DMO「おぢかアイランドツーリズム」を設立。個人客の誘客に寄与するとともに、**行政と一体となった観光政策の立案と実行**によりブランドを形成。



暮らすような滞在を提供するため、古民家をまるごと一棟貸し出し



地元の食材を活かした島の家庭料理をふるまう古民家レストラン



※詳細はリンク先→ <https://www.ojikajima.jp/>

歴史的資源を活用した観光まちづくり（宮崎県日南市飢肥の取組）

概要

- 重要伝統的建造物群保存地区に指定された飢肥地区の歴史的な町並みを活かし、観光まちづくりを進めるため、官民連携のチームを構築。特に主要都市圏からのアクセスに課題を持つ地域の先進事例になるべく、古民家を改装し、宿泊施設として開業。

取組内容のポイント

○古民家再生によるまちの滞在拠点の提供

飢肥地区では、古民家を活用した飲食や物販・ギャラリーは多いが、宿泊場所が不足。この課題解決として、Kiraku Japan合同会社は空き家であった古民家を宿泊施設に再生し、**2017年4月に一棟貸ホテルを2棟開業。**



合屋邸外観



勝目邸外観



飢肥地区の町並み

○官民連携の取組

地域経済活性化支援機構（REVIC）等が設立した**観光活性化マザーファンド**および**宮崎銀行、行政（日南市、および文化庁）**の3者による協調支援により、Kiraku Japanが飢肥地区に開業する古民家宿泊施設に投資し資金を供給。



合屋邸内写真

※詳細はリンク先→ <https://www.kiraku.co/>

歴史的資源を活用した観光まちづくり（広島県尾道市の取組）

概要

- NPO法人尾道空き家再生プロジェクトが、江戸時代、北前船で栄華を極めた港町である尾道に存在する100軒ほどの空き家の再生にかかわり、地元雇用を生み出している。

取組内容のポイント

○尾道の町並みと空き家問題

尾道は、江戸時代、北前船で栄華を極めた港であるが、現在では車中心の町づくりが進められ、古い港町としての面影を失いつつあり、駅から2キロ圏内の町の中心に500軒以上の空き家が点在していた。



港町尾道の町並み



尾道に点在する空き家



ガウディハウス



尾道ゲストハウス みはらし亭

○空き家の再生

NPO代表の豊田雅子氏が、空き家を取り壊しから救えないかと2007年ごろから活動を始め、「尾道市空き家バンク」を2009年に事業受託。100軒ほどの空き家の再生にかかわり、150人以上の移住者が尾道にやってくるなど、空き家再生を通じた地方創生に大きく寄与。



尾道ゲストハウス あなごのねどこ



150人以上の移住者を生み出した

※詳細はリンク先→ <https://www.onomichisaisei.com/>

歴史的資源を活用した観光まちづくり（千葉県香取市佐原の取組）

概要

- 重要伝統的建造物群保存地区に選定されている千葉県香取市佐原地区において、地域経済活性化支援機構（REVIC）がハンズオン支援を行い、まちづくり会社であるNIPPONIA SAWARA(株)を設立。篠山の成功モデルを関東でも実現するべく、複数の古民家の改装を進めている。2018年3月末開業予定。

取組内容のポイント

○古民家再生による町の魅力向上

佐原地区は都心部、成田空港からのアクセスの良さからインバウンド需要が期待されるが、宿泊施設、魅力的コンテンツが不足。そこでREVICが中心となりNIPPONIA SAWARA(株)を立上げ、古民家を宿泊施設に改装するとともに、コンテンツ開発を進める体制を構築。



施設内写真①



施設内写真②



佐原地区の町並み

○官民連携の取組

京葉銀行、佐原信用金庫及びREVICにて「千葉・江戸優り佐原 観光活性化ファンド」を設立し、NIPPONIA SAWARA(株)への支援を行っている。事業運営をバリューマネジメント(株)が担い、段階的に扱う古民家を増やし、町全体の活性化を進めている。



改装前の施設内写真



ユネスコ無形文化財登録 佐原の大祭

※詳細はリンク先→ <https://nipponia-sawara.jp/>

歴史的資源を活用した観光まちづくり（愛媛県大洲市の取組）

事業計画中

概要

- 大洲市肱南エリアに密集する約20件の古民家の保存に取り組んでいる。大洲市が過去に景観条例を敷いており、学術的調査を入れ、オーナーへのヒアリングも実施している。**町家を清掃する「NPO法人YATSUGI」**での活動を通して**地域のコミュニティ**に溶け込んでいる。

取組内容のポイント

○空き家活用と地域再生

一般社団法人ノオトと大洲市が20軒を超える古民家の再生を行う予定であり、**起業家や事業者を誘致し、多くのホテル、レストラン、カフェ、工房などが立ち並び、魅力的な城下町等の街並み実現に向け始動。**



高月邸カフェ&バー&ゲストハウス



古民家カフェ



CRAFTS&ARTS&FOODS



大洲市の街並み

○YATSUGIの清掃活動

YATSUGIの目的は、**町並みの魅力**を守りながら、価値を高め、その価値に共鳴する人を中心に現在計**96名**と、**歴史ある町家6棟**を清掃。この活動を通して現在、人と人のつながりを促し、町家活用による新規創業・移住を**9件**呼び込み、「**まちを生かす**」活動に取り組む。



任意団体Yatsugiロゴ



NPO法人YATSUGI活動

※詳細はリンク先→ <https://www.facebook.com/Yatsugi-1865744357009657/>

最近の取組事例①

連携推進室・専門家会議の取組状況

- 平成29年1月30日の発足後、90件近い案件の相談があった。（その他継続地域が約80地域）
- これらの案件を含め、相談内容に応じて、同室または専門家会議がサポートを実施。専門委員が現地を視察してアドバイスするなどしており、その中で、以下のような有望案件が出てきている。

だざいふ

太宰府（福岡県）での取組

- 太宰府天満宮、地元鉄道会社を中心となり、専門委員のアドバイスを受けながら、都市銀行と連携したファイナンススキームの構築や、関係者の共同による会社の設立に向けた調整などにより、門前町の古民家を改修した宿泊施設や飲食施設などの整備に向けた取組を進めている。
- 太宰府市が地域の機運を高めるため、平成29年6月9日にシンポジウムを開催した。



かつらぎ町（和歌山県）での取組

- 地域金融機関と専門委員所属団体が平成28年8月に協定を締結し、熊野古道の麓にある旧酒蔵や廃校を宿泊施設として本年度から順次整備する予定である。
- あわせて、生産量日本一を誇る柿などの地域に豊富にある果樹園を活用し、新しい高野山への入口として滞在体験型のまちづくりを進める予定である。



ますだ

増田町（秋田県）での取組

- 秋田県横手市の増田地区（重要伝統建造物群保存地区）は、座敷蔵を有する屋敷群が特徴。このうち、重要文化財である「旧松浦家住宅」を地域金融機関の出資法人が取得した。
- 同行は、本物件の再生活用を起点として、座敷蔵等を宿泊施設として活用するエリア開発の計画策定に着手。既に、専門委員が現地視察を終え、連携を前提に具体的な検討に入っている。



最近の取組事例②

みたけじゆく

御嶽宿（岐阜県）での取組

- 専門委員が地域の歴史文化、町並み、古民家等の歴史的資源を活用した拠点整備の計画策定段階からサポートしている。
- 旧旅籠^{みたけちよう}を御嵩町が購入し、宿泊施設として活用を進めるとともに、御嵩町のバックアップと専門委員の協力を得ながら、今秋頃にまちづくり会社を設立する予定である。



しもつけ

下野市（栃木県）での取組

- 地域の民間有志が地域の農協の事務所を改修し、イタリアンレストランを開店。今後、当時の石蔵も活用し、宿泊施設等の整備を計画している。
- 7月上旬に専門委員が訪問し、改修する際の費用や周辺地域の空き家の活用方策について意見交換を実施。専門委員の意見を踏まえ、実現可能な事業を進める方向について確認した。



おおたき

大多喜町（千葉県）での取組

- 専門委員が、千葉県大多喜町での古民家再生事業を計画策定段階からサポートし、築200年の古民家を改修して宿泊施設として再生し、管理を地元住民が行い、平成29年4月から運営を開始している。
- 平成29年5月に開催された古民家シンポジウムをきっかけに、専門委員と大多喜町長との関係が強化される。空き家となっている古民家約50件を、飲食施設や宿泊施設として再生の上、物件情報を事業者が発信する仕組み作りを検討している。



最近の取組事例③

ありた

有田町（佐賀県）での取組

- ブランド力の強い「有田焼」を軸に、有田焼にまつわる食・芸術・窯元・自然といったコンテンツをミックスし、インターネットにより発信するとともに、古民家を改装し、有田焼の伝統・文化を体感できる物販店舗等を展開・計画中。
- 物販店舗に必要な資金をクラウドファンディングと金融機関から調達すべく、クラウドファンディング会社、まちづくり会社、金融機関、REVICで平成29年10月に連携協定を締結。



おおつき

大月市（山梨県）での取組

- 築200年以上の古民家等について、宿泊施設やカフェ等に活用する事業を計画中。
- 平成29年7月下旬に専門委員が視察を行い、まちづくりのコンセプトや事業計画等について意見交換を実施。専門委員の意見を参考に、さらに具体的な事業内容を検討している。



くりやま

栗山町（北海道）での取組

- 北海道で最も古い酒蔵の一つ（個人所有）を中心に、数件の空き家の活用方策を地方自治体を中心となって検討中。
- 平成29年7月中旬に専門委員が視察を行い、全体的なコンセプトの必要性、宿泊施設やアトリエ、陶芸スペース等の多角的な活用、事業主体のあり方等についてアドバイス。専門家の意見を踏まえ、地元の人を中心となって観光まちづくりを進める事業者を設立する方向で検討。

